

→県要望 平成26年度

## I. 平成27年度 県行政に関する要望

提出先 静岡県

提出日 平成26年10月17日

(要望内容)

内閣府の月例経済報告によれば、景気は、一部に弱さもみられる中、穏やかに回復していくことを期待しているとしながらも、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなどのリスクに留意する必要があるとしております。一方、甚大な被害をもたらすゲリラ豪雨などの自然災害や緊迫するウクライナ情勢の行方、中東問題や中国・韓国の動きなど、懸念材料も増加しております。

そのような中、第2次安倍内閣が発足し、個性あふれる地方の創生のもと、経済の好循環の波を全国に広げることがを目的に(まち・ひと・しごと創生本部)が設置されました。また、国の成長戦略の柱に据える女性の活躍推進も前面に打ち出されております。

一方、静岡県においては、生産現場の海外移転などから、回復テンポは全国に比べて緩慢となっており、生産現場の海外移転などから、回復テンポは全国に比べ、暖かな状況にあり、3月より静岡県産業成長戦略会議がスタートしました。知事主導により、産、金・官の連携のもと、地域企業のものづくり力の強化や次世代産業創出、女性の活躍も含めた将来を担う人づくりに向けた検討がなされております。

今後、静岡県が新たな発展軌道に乗る為には、これからの時代の流れを確実に踏まえたものづくりの復活、女性の雇用・活躍の場の拡大や、子どもたち教育も含めた人づくりが益々重要になります。また、短期的には、外国人誘客も含めた観光振興策の強化が求められるところであります。

このような経済環境下、我が国の経済を支え、地域を活性化する地域産業は、自助努力のもと、経営革新、地域資源の活用、農商工連携等に積極果敢にチャレンジし、懸命に経営課題に取り組んでおります。

県におかれましては、中小の地域企業の現状を良くご理解いただき、各種施策を積極的かつ機動的に推進いただくことを願う次第です。平成27年度の当初予算の編成にあたりましては、厳しい財政状況の中ではありますが、以下の要望事項の実現につきまして、特段のご配慮をお願いいたします。

### 1. 県全体

- (1) 女性が働きやすい環境の整備推進
- (2) 企業誘致対策・留置対策の促進
- (3) 中小企業向け工業用地の供給
- (4) 富士山静岡空港の販路拡大及びダイヤと便数の改善並びに県外・国外から本県への誘客推進策の実施
- (5) 富士山女子駅伝実施に関する支援

### 2. 西部地域

- (1) 浜松工業技術支援センターが保有する試験・評価に係る機器の更新
- (2) 県営浜松球場(仮称)の整備
- (3) 内陸フロンティアを拓く取組による地域経済活性化
- (4) 県内茶の有効的な広告宣伝

### 3. 中部地域

- (1) 清水ウォーターフロントの活性化及び地震・津波対策の促進
- (2) 新たな静岡県水産技術研究所への見学及び学習のできる施設の設置等
- (3) 静岡県道416号静岡焼津線の早期復旧
- (4) 志太中央幹線に国道1号線以南・田沼街道以北の事業未着手区間の早期整備促進
- (5) 県道河原大井川港線(谷口橋以東及び島田球場付近)の道路整備

### 4. 東部地域

- (1) 新東名高速道路のアクセス道路(岳南北部幹線)の建設促進
- (2) 田子の浦港の津波防災対策と地域振興
- (3) 沼津駅付近鉄道高架本体工事の早期着工
- (4) 静岡県中小企業者の受注機会の増大による地域経済の活性化に関する条例のチェック体制構築

### 5. 伊豆地域

- (1) 伊豆地域の道路、鉄道等の整備促進並びにネットワーク整備
- (2) 伊豆半島ジオパーク構想の発展並びにインバウスの推進策
- (3) 県営駿豆水道の経費負担の軽減

— (社) 静岡県商工会議所連合会 —

(焼津要望)

(新規)

1. 新たな県水産技術研究所への見学及び学習のできる施設の設置について
2. 県道416号静岡焼津線の早期復旧について
3. 港に設置されている燃料タンクの防災について

(継続)

1. 県工業技術研究所の3Dプリンターの導入について
2. 県道焼津森線の道路拡幅改良(4車線化)の早期開通と両東名高速道路のジャンクション設置について
3. (仮称)大井川・藤枝スマートICの開設に伴う周辺の土地利用について
4. 志太中央幹線及び小川島田幹線の早期開通について
5. 焼津漁港マスタープランの事業実施について
6. 焼津漁港及び焼津市の海岸線、沿岸線の対策について